

東村山市立東村山第四中学校



外観

八国山を背に、豊かな自然と下宅部遺跡など文化遺産に囲まれる地域に位置する「東村山市立東村山第四中学校」。このたび、校舎西棟・北棟と体育館のトイレを全面改修。改修歴のある校舎南棟は部分改修を行った。



校舎西棟トイレ 全体

自然光が射し込む明るく清潔感のある空間。各コーナーのライニングには木目調を用い、温かみを感じられる内装としている。小便器は、床の清掃性や節水性に優れた壁掛型の自動洗浄小便器を設置している。



校舎西棟トイレ
洗面コーナー



洗面器は、手を差し込みやすい深型タイプのボウルを採用。また、非接触で水の出し止めができる自動水栓は、電気工事が不要で、停電時にも作動する電源不要の自己発電タイプを採用している。



体育館トイレ図面



校舎西棟トイレ
大便器ブース

清掃は乾式清掃へと変更し、残っていた和式便器もすべて洋式便器に変更。男女トイレともに1ヶ所ずつ、擬音装置「音姫」付きのウォシュレットPを備え付けている。



校舎西棟1F
バリアフリートイレ

A棟1Fのバリアフリートイレには、車いす利用者やお子様連れ、オストメイトなど、さまざまな利用者に対応できる設備を完備している。



校舎北棟2F
バリアフリートイレ



女子トイレの一角を活用し、バリアフリートイレを新設。生徒や教職員だけではなく、学校行事や地域開放時に備え、性別を問わず、だれでも利用できるトイレとしての設備を完備している。



体育館
バリアフリートイレ

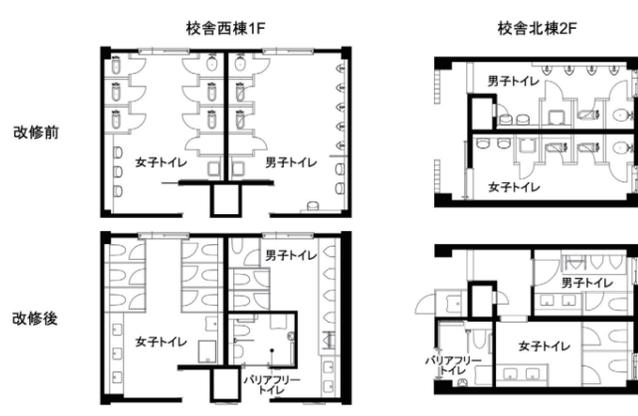
体育館の倉庫スペースを活用しバリアフリートイレを新設。屋外からバリアフリートイレまでの動線は、スロープでアプローチができる。器具は、校舎棟と同様にさまざまな利用者に対応できる設備を完備している。



体育館トイレ



バリアフリートイレの新設を実現するために、体育館の男女トイレは、コンパクトな手洗器を設置。限られた空間を有効活用した。



校舎棟トイレ図面

水まわりの特長

改修の経緯

東村山市では、教育環境の整備、教育内容の充実を図るべく、小中学校トイレ洋式化事業を実施している。避難所としても機能する学校施設環境の充実のため、小中学校の既存トイレ設備について、「洋式便器に変更」と「乾式清掃化」への改修を実施。この計画に基づいて改修された「東村山市立東村山第四中学校」は、1963(昭和38)年に開校された、市内4番目の中学校である。八国山を背に、豊かな自然と文化遺産に囲まれながら、生徒は、明るく健やかに毎日の勉学に励んでいる。今回、校舎西棟・北棟と体育館のトイレを全面改修。直近で改修歴がある南棟は部分改修を行った。

トイレの特長

小中学校トイレ洋式化事業における基本方針より、トイレは「洋式便器に変更」と「乾式清掃化」を実施。また制約が多い改修工事のなか、既存の電力容量の範囲内で、温水洗浄便座を各トイレに1ヶ所ずつ設置。加えて、衛生面にも配慮し、洗面コーナーには自動水栓、小便器は床の清掃がしやすい壁掛型の自動洗浄小便器を採用している。また、災害時の避難所となる体育館には、器具庫を改修してバリアフリートイレを新設。屋外からは、昇降口からトイレまでの段差をスロープでアプローチできるようにしている。さらに校舎棟トイレにも女子トイレの一部を活用するなどして、バリアフリートイレを新設。教育施設として、地域の拠点として、多様な利用者に配慮した、安心で充実したトイレ環境が整備された。

建築概要

名称	東村山市立東村山第四中学校
所在地	東京都東村山市野口町3-24-1
施主	東村山市
設計	株式会社手島建築設計事務所
竣工年月	(改修)2023年1月
敷地面積	18,228.26㎡
建築面積	2,006.79㎡
延床面積	3,146.38㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上4階(校舎) 鉄骨造・地上1階(体育館)

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュバルブ式:CFS494MNHNS
車いす対応便器:C480AN/ウォシュレットP:TCF587
ウォシュレットPS(温風乾燥付きエコリモコン):TCF5554PR
普通便座:TC291/棚付二連紙巻器:YH702/自動洗浄小便器:UFS900JCS
洗面器:L501/台付自動水栓:TLE26006J
コンパクトオストメイトパック:UAS81R系/ペーパーシート:YKA24
ベビーチェア:YKA15